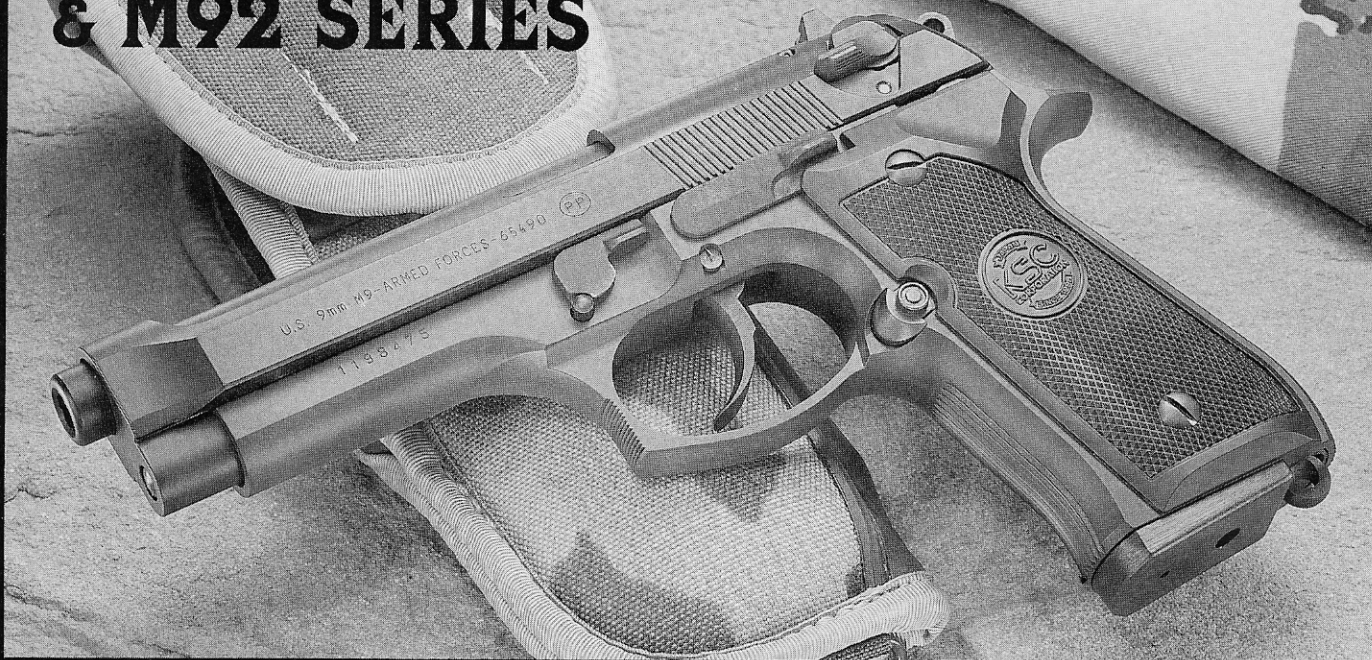


KSC U.S. 9mm M9 & M92 SERIES



取扱説明書

ご使用になる前に必ず最後までお読みください。



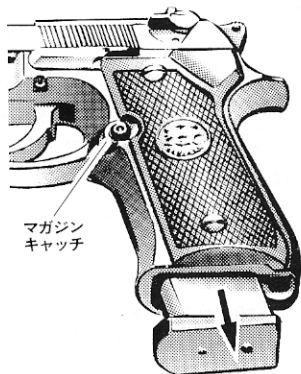
(対象年齢 18歳以上)

失明などの重大なケガの危険があります！
誤った取り扱い、不注意な発射は、暴発・跳弾・銃の破損につながり、ケガ・物品破損・事故を招く危険があります。以上の事を未然に防ぐために、この取扱説明書を最後まで良く読み、注意事項・マナーを十分認識したうえで、当製品を安全に正しくお使いください。

操作 I

1 【ガスの注入】

1. マガジンキャッチを押し、マガジンを抜いてください。抜いたらマガジンが温まりすぎていないことを確認します(温まりすぎているとガス充てんが十分に行なえません。次ページを参照し状況改善を行なってください)。



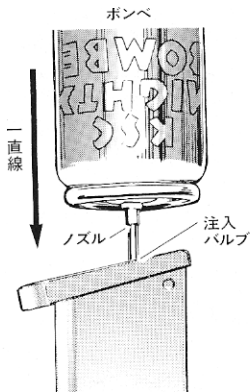
マガジン
キャッチ

マガジン

! 注意

●マガジンを床などの堅い所へ落とすと変形し、銃の不調につながります。掌で受け止めるようにしてください。また足の上に落してケガをしないようご注意ください

2. マガジンを逆さに持ち、マガジン底部の注入バルブにKSCマイティポンベのノズルを差し込んで、ポンベを軽く押し下げてください。この時、ポンベとマガジンが外見上一直線になるようにするのがコツです。うまく注入できているときはシューという音がします。



! 注意

●ポンベを押し下げたとたん液状ガスが注入バルブ周辺から吹き出す場合は、ポンベとマガジンの注入バルブが一直線になっていない時ですので、微妙に角度を修正して正常に注入できる位置をさがしてください



凍傷の恐れあり。
液状ガスに注意!

3. 正常な注入後、満タンになったら液状ガスがふきだしますので注入を終了してください。しばらく放置しマガジンが常温(触ってみて熱さや冷たさを感じない程度)に戻ってから使用します。(マガジンが冷えていると正常に作動しません。)

KSCマイティポンベ500
¥1,300 (500g入り)
【フロンHFC134a】

! 警告

《ガスポンベ使用上の注意》

●KSCマイティポンベ以外は使用しないでください。特に高圧ガス等は故障の原因となるばかりでなく、破損・破裂といった危険につながることも予想されますので、絶対に使わないでください。また、指定以外のものはポンベの口金が合わず注入できないこともあります ●ガス圧を故意に上げるために暖房器具・熱湯等で加温することは絶対にしないでください。破裂の恐れがあり危険です ●注入時に液状ガスが身体や衣類につかないよう注意してください。気化冷却のため凍傷になる危険があります ●その他、マイティポンベに記されている注意内容も守ってお使いください ●上記の注意を守らずに使用して発生した故障や事故については当社は一切の責任を負えません



! 警告

《リキッドチャージマガジン使用上の注意》

●リキッドチャージシステムのマガジンは、ガスを注入した直後、マガジン内が非常に冷却されます。そのため、ガス室の内圧が下がり、エアノズルの穴より微量のガスが漏れることがありますが、常温になると正常に戻ります。このガス漏れは、非常に微量ですので、使用上全く問題はありません ●発射時にガスを放出する際、マガジンの油分が飛ばされてしまうので、常にオイルを補充し、ベストの状態でご使用ください。(メインティ

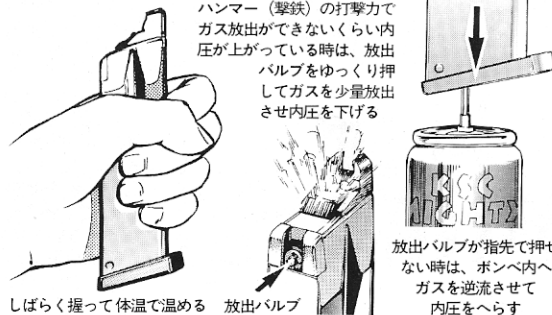
ナンスの項参照) ●周辺温度が20℃以下の場合(冬期など)や連続発射をした時は、ガス圧が下がり、作動が鈍くなる場合があります。これは故障ではありませんから、室温などで常温に戻せば調子は回復します。決してマガジンやポンペを故意に温めないでください ●ガスが入っているマガジンを、直射日光の当る所や火気の近くなど、温度の高くなる場所に置かないでください。故障の原因となる場合もありますので、使用しないときは、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください ●注入するガスは、KSC純正の“マイティポンペ”と表示されたものをご使用ください。他の種類のガスをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく危険です。絶対に使用しないでください ●リキッドチャージシステムは、マガジンやポンペが低温になっていてもガスチャージできます。絶対に缶を温めないでください ●マガジンをむやみに分解すると故障の原因となります。また危険ですの絶対にしないでください ●マガジンはかなりの重さを持っていますので、落下させた場合、ケガや破損の原因となります。掌で受け止めてお使いください ●使用しない時は、マガジンからガスを全部抜いて空にしておいてください。常に圧力がかかった状態ですと、ゴム類等、内部部品の負担が増し劣化を早めることになります ●ガスを放出させる際は、気化冷却のために非常に低温となりますので、ガスが手や顔にかからないようご注意ください

注意 《マガジン性能安定のポイント》

KSCのガスブローバックガンは、生ガス(液状ガス)を吹きながらでも正常な作動・弾道が得られるよう設計されていますが、極度に冷えすぎた場合、ブローバック作動時に送弾せずBB弾が飛ばないことがあります。このような時やガス注入時にマガジンの冷えが確認された場合は注入後に掌でしばらく握っているか、室温など20~30℃のところでしばらく放置して常温(=マガジンを触ってみて冷たくも熱くもない)状態にしてください(放置しておく際は子供の手の届かないところで行ないましょう)。また、逆に直射日光等が原因で温まりすぎてしまった場合ですが、状況によって改善策が多少異なります。①ガスが満タン(またはそれに近い状態)で温まりすぎた場合——異常な内圧の上昇により放出バルブの“はりつき現象”が起き、ハンマーの打撃力だけでは放出(=発射)できないことがあります。このような時は放出バルブを押し、ガスを少量放出して内圧を下げてください。この時、放出量が多いと全弾撃ちつくすだけのガスが残らないこともありますので注意しましょう。放出バルブが押せないほど圧力が高くなった時は、図のようにポンペを下にして注入時と同じ要領でマガジンを押しつけると、相方の内圧が同じになるまでガスが逆流し圧力の低下が得られます。こうすると放出バルブを押せるようになりますが、この場合、全弾分のガス量が残っていないことがあり、さらにマガジンが温まったままですとガス補充も十分に

は行なえません。いったんマガジンからガスを放出し(気化冷却を利用してマガジン温度を下げ)改めてガス注入を行ってから使用してください。②当マガジンは通常80発以上分のガス量が蓄えられます。性能の安定を図り、残りのガスを有効に使う意味から2マガジン分位を撃つたびにガスチャージしてください。この時、マガジンが温まりすぎていることが大切です。残りのガスが入っている状態でマガジンが温まりすぎている場合、マガジン内圧がポンペ内圧より勝り、ガス補充のつもりで作業を行ってもマガジンからポンペへの逆流を招くだけで実際にはガス補充ができていなかったということもあります。そんな時は放出バルブを押して残りガスをすべて放出したうえでガス注入を行ってください。③ガスが空の状態のマガジンが温まりすぎた場合——空とはいっても1気圧分の空気は入っています。これが熱により膨張し内圧が高まっているわけですので、ガス充てんが不十分にしか行なえないことがあります。空のマガジンでも放出バルブを押し外気圧(=大気圧)とマガジン内圧を同じくしてからガス注入を行ってください。④異常なほどマガジンが熱くなってしまった場合、ガス放出・ガス注入をくりかえし、気化冷却によってマガジン温度を常温(冷たくもなく熱くもない状態)にしてから使ってください。なお、この銃の場合、前述の放出バルブの開放は、放出バルブ頭部を押すことで行なえます。最後に以上の内容をまとめると以下の3項に集約することができます。

- 銃の性能を100%引き出すにはマガジンのノウハウを身につける
- 使用時はマガジン温度をつねに常温状態(20℃以上)でキープする
- 「1チャージ2マガジン」が性能安定のポイント



※寒冷期は気化が速く圧力も低いいため、夏場より液状ガスが多く注入され気化スペースを狭くし、最初の数発は生ガスがでてしまう傾向が強まります。満タン注入後はガスを少量放出し、気化スペースを作ってください。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

操作 II

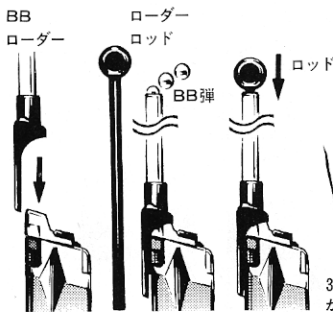
2 【BB弾の装てん】



警告

《BB弾使用上の注意》

●KSC製エアガン(ガスガン含む)は、全機種KSC製BB弾に合わせた設計・調整が行なわれています。言い換えれば同BB弾使用時に最も高性能が発揮できということにもなります。以上の理由から、BB弾は必ずKSC製をお使いください。指定外のBB弾、キズがあったり変形したBB弾、改造を施したBB弾は、性能を著しく低下させるばかりか、正常な発射ができなかったりさまざまな作動不良の要因ともなりえます。ご注意ください。(当社への修理依頼品のうち過半数は他社BB弾使用に起因するものです。また、そのうちの半数近くはKSC製BB弾に変えただけで正常作動してしまうというのが実状です。) ●KSC製以外のBB弾を使用して発生した故障や事故については、当社では一切の責任を負いません ●BB弾は使用後必ず回収してください。幼児が飲み込んで窒息したり、誤って踏んで転倒し大ケガをするなど、思わぬ事故につながる危険性があります。また、屋外で回収を怠ると、環境破壊にもつながります



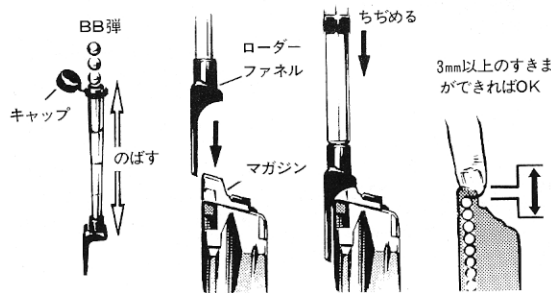
点線部に押しこむ



ローダーを図のようにマガジンリップ部にかぶせ密着させ、26発以内のBB弾をローダーパイプに入れ、ロッドで押し込みます。BB弾を入れ終わったら、爪先でBB弾を押し下げ、3mm以上のすきまができていることを必ず確認してください。すきまができない時は銃が破損しますので1発抜きとってください。

ローダーを使わずに1発ずつめる場合は真上からリップの間に押し込んでください。

●伸縮自在／携帯便利なニュータイプのローダー「EZ(イージー)ローダー(¥1,500)」も使用可能ですので、合わせて使用方法を紹介しておきます。(なお、EZローダーは、MK23、クーガー、M93Rにも使用できます。)



- ①ローダーをのぼしてキャップを開け、BB弾を装てん(43発位入ります)し、キャップをかぶせます。
- ②ローダーファネルをマガジンにかぶせ、ガタつかないよう掌でおさえます。
- ③キャップをかぶせたままローダーを押し縮めるとBB弾がマガジンに装てんされます。
- ④最後に、BB弾を爪先で押し、マガジン内部で3mm以上すきまができることを必ず確認してください。すきまができない時は、そのまま使うと銃が破損しますので、必ず1発抜き取ってください。(EZローダーは1回のチャージで29発まで装弾可能ですが、当モデルの場合はキャパシティが26発ですので3発余ることになります。またそれ以外にも、構造上、ローダー内に14発が常に残ります。)

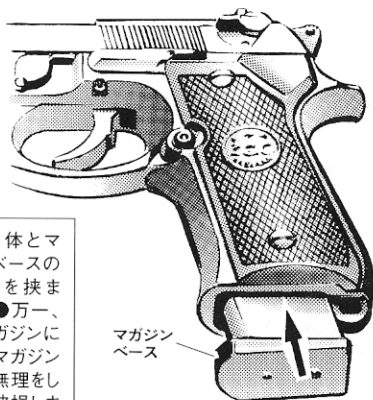


注意

●指定数をこえるBB弾を無理につめこむと、破損の原因となりますのでご注意ください ●気温の変動等によりマガジン内の圧力が上がりすぎると、ハンマーの力ではガスが放出できなかったり、弾道が乱れる場合があります。そのような時は、BB弾を抜き、ガスを多少放出させ(7ページ参照)ガス圧を下げてください

3 【マガジンの装着】

マガジンを銃本体に戻します。この時、マガジンキャッチがカチンと音をたててかかるのを確認し、念のため一度マガジンを下に引いて抜け落ちないことを確かめてください。

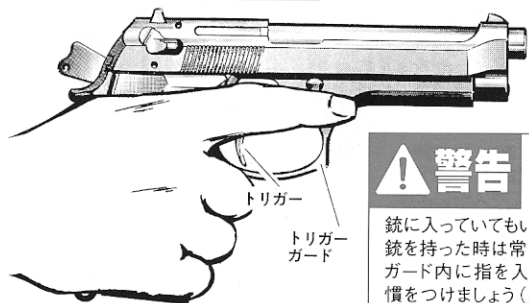


マガジン
ベース

破損の原因になります。マガジンをおもいきりたたきこまないでください。

⚠ 注意

●銃本体とマガジンベースの間に手を挟まないようご注意ください
●万一、指定数を超えるBB弾がマガジンに装てんされている場合は、マガジンが正しく装着できません。無理をして装着しようとすると銃が破損します。このような時は決して無理をせず、BB弾を減らしたうえで装着してください



⚠ 警告

●BB弾・ガス・マガジンが銃に入っている場合、銃を持った時は常にトリガーガード内に指を入れない習慣をつけましょう(射撃中は除く)。さらに銃口の向きにも常時注意しましょう

トリガーフィンガー(引金を引く指)をトリガーガードの外へ出しておく

4 【初弾の送りこみ】



スライドをいっぱい引いて指をパッとはずすと、初弾がチャンバー(薬室)に送りこまれ、ハンマー(撃鉄)が起きた状態になります。
★この操作を忘れると1回目はプロウバックするだけでBB弾は発射しません。

⚠ 注意

●指をそえたりしてスライド前進を遅らせると送弾不良の原因になります。指をパッと離してください
●誤射・暴発を防ぐ意味で、射撃の直前まで薬室にBB弾を送りこまないでください。

リアルライヴ ショートリコイル



スライドを引くと、銃身が数ミリ後退しスライドに噛んでいたロッキングブロックが下降してロックが外れ、その後はスライドだけが後退を続けます。手動時だけでなくプロウバック作動時にも瞬時に行なわれるこのメカニズムの再現は必ずしも目新しいわけではありません。しかしその大半は、インナーバレルを固定しアウターバレルのみを動かしてショートリコイルに見せかける外觀のみのタイプでした。実銃がバレル丸ごと動く以上、ガスBLKガンでも丸ごと動かしたい。その熱意とKSC独自のガスプロウバックメカが、インナーごとアウターの動く真正正銘のショートリコイルを実現しました。分解して見比べてください。いかにリアルか、いかに見せかけではないライヴな構造か、きっとご満足いただけることと思います。

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

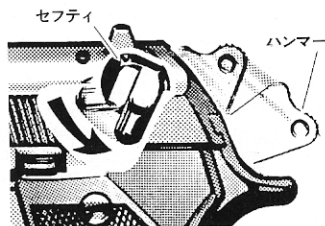
アフター

通販

操作 III

5 【セフティ(安全装置)】

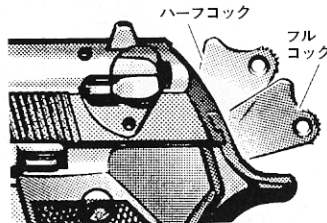
セフティを赤いマークのとこ
ろまで下げると安全装置がか
かり、トリガーを引いても発
射できません。なお、この機
構はデコッキングレバーの役
目も兼ねていますのでセフティ
を下げるとフルコックまたは
ハーフコック位置からハンマー
をノンコックの位置まで安全
に落とすことができます。



MEMO

フルコック……ハンマーを
いっぱい起こした状態。

ハーフコック…ハンマーを
ダウン位置とフルコック位
置の中間(セフティポジシ
ョン)に落とした状態(=安
全機能の一種でもある)。



※セフティがかかっている時、ハンマーをコックすることはできません。
※セフティは左右どちら側でも操作することができるアンビタイプです。

リアルライブ デコッキング&セフティ



セフティを下げる。ハンマーが倒れる。どこにでもあるデコッキングメカニズムです。でもハンマーが倒れた位置にご注目ください。従来の、スライドにセフティがあるデコッキング式のスプロウバックガンでは、セフティを下げることで「突っかい棒」のようなパーツが出て来てハンマーを強制的に中途半端な位置で止めてしまうタイプのものが大半でした。それではリアリティに欠ける、デコッキングしたハンマーはやはり実銃とドンピシャの位置まで倒れて欲しい。そんなマニアックな部分にもKSCはこだわりました。実銃どおりにリアルに再現され、実銃どおりにライブで機能するシステム、それがこの機構の大きなメリットなのです。

※レストポジション(=ノンコック状態)のハンマーをハーフコックポジションにしたい時は、ハンマーをゆっくり起してください。最初にカチッとコックした位置がハーフコックです。フルコック状態のハンマーをハーフコックにしたい時は、あらかじめセフティを下げてハンマーを落とし、セフティを上げ(=解除)してから上記方法をとってください。



●セフティを操作する時は、不調や故障の場合を考え、万一暴発しても事故や器物破損がおきないように、銃口の向きに注意し、さらに跳弾しない配慮をしてください ●セフティ操作中はトリガーに指をかけないでください。発射をする時以外は、つねに安全装置をかけておく習慣をつけるようにしましょう ●ハンマーを指で押さえてフルコックから直接ハーフコックにする方法は、万一操作を誤ると暴発・誤動作を招き危険です。絶対しないでください

6 【発射】

★快調作動はマガジンの温度コントロールと1チャージ2マガジンがポイントです。



セフティをはずし、トリガーを引いてください。トリガーを引くたびにガス圧によるBB弾発射とスライド後退(ガスプロウバック)が行われます。

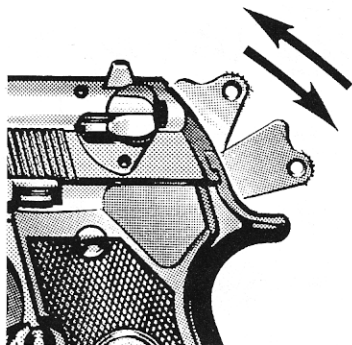
★スベアマガジン(¥4,000)を活用するといっそうシューティングが楽しめます。

KSC U.S. 9mm M9

発射の方法は次の2通り
です。

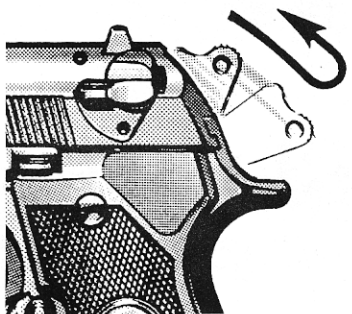
シングル アクション

ハンマーが起きている状態
からトリガーを引いてハン
マーをダウンさせ、発射させ
る方式



ダブル アクション

ハンマーがダウンしている
状態またはハーフコックの状
態から、トリガーを引き絞っ
てゆく動きに運動してハンマ
ーが起き上がり、ある位置で両
者の連係がきれてハンマー
がダウンし、発射させる方式



注意

●銃後方にブローバック時の排気を感じる場合があります。
また、パワーソースとして使用しているガスの特性上、寒
冷期やマガジンが冷えている場合は、作動不良が起こる
こともあります(6ページ「リキッドチャージマガジン使用上の注意」7ページ「マ
ガジン性能安定のポイント」参照)。これらはいずれも故障ではありませんので、
ご了承ください ●ガス残量が少なくなると、作動が悪くなり性能が安定しま
せん。早めにガスを補充してください

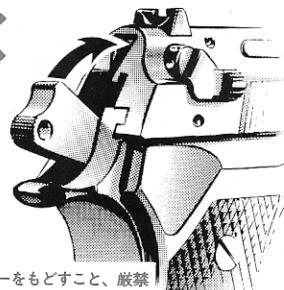
警告

《発射時の注意》

不注意な発射は失明やケガ等の危険があ
ります。発射の際は跳弾にも十分注意し周囲の安全を必ず
確認してください

●スライドが勢いよく後退します。顔を近づけないでください。また、跳弾や
万一の破損による部品の飛散を想定して、シューティンググラスなどのアイ
プロテクション(目を保護するもの)を必ず着用し、肌を露出しない服装に
なるなどしてケガを未然に防ぐ方法をとってください ●倒れてくるハンマー
で指などを挟まれないよう注意してください ●撃つ・撃たない、BB弾が薬
室に入っている・入っていないにかかわらず、どんな時にも人・動物・ごわれ
やすい物に銃口を向けず、または銃口側に向かない(ない)ようにしてくだ
さい ●同上の理由から、万一の暴発を考え、銃口をのぞきこまないでくだ
さい ●BB弾の到達距離はその時の気温、風向に多分に左右されます
ので、より遠く、より広範囲にわたって十分な注意をはらってください ●イ
タズラに他人の物、公共の物を撃つたりすることは絶対しないでください。
それは犯罪です ●発射する意志があり、かつ銃口が標的に向いている
時以外は、絶対に引金に指を触れないでください ●射撃を楽しんでいる
以外の人がいる時や屋外の場合は、近所迷惑・誤解のないよう十分注意
してください ●壊れやすい物を標的にしたり、標的の周辺に置かないで
ください ●跳弾は思わぬ方向に飛ぶ可能性があります。可能な限り広
範囲に注意をはらってください ●複数の人で射撃を楽しむ場合は、全員
にアイプロテクションの着用を義務づけ、射撃前には他の人に発射するこ
とを伝え注意をうながし
てください ●必要以
上の空撃ち(ガスやBB
弾を使わない射撃操作)
は部品の摩耗・破損に
つながりますので、しな
いでください ●マガジン
が銃に装着されている時、
起きているハンマーを指
でおさえながらトリガーを
引いてゆくりとハンマー
を倒す操作は絶対にし
ないでください。暴発し
後退するスライドでケガ
をする危険があります

危険!!



指でハンマーをもとすと、厳禁

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

操作 IV

正しい操作方法を身につけて、
快適なスポーツシューティングを楽しみましょう。



★性能どりの命中精度を引き出すには、しっかりしたグリップホールドが不可欠です。図のようなツーハンドホールドが最も効果的。右手は突き出し左手は体の方へ引きつけるようにして握るのがコツです。



●良くないグリップホールド

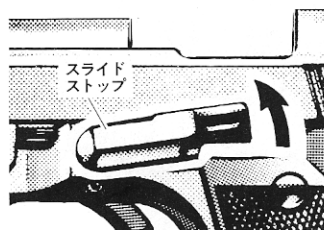
◀左手親指の位置に注意！
ちょっとした親指が上へズレると、後退するスライドやハンマーでケガをする恐れがあり危険です。どのようなホールドの時でも親指のポジションには注意をはらってください。



警告

●銃を横にしたり逆さにして撃たないでください。液状ガス(=生ガス)がそのまま出てしまいます。この状態のガスは気化冷却のため非常に冷たく、体に触れると凍傷になる可能性があります。さらに、銃内部の特にゴム部分を凍らせてしまう場合もあり、劣化をいちじるしく進行させます。ご注意ください

7 【ホールドオープン】



全弾撃ちつくすとスライドストップがかかり、スライドは後退位置で止まります。スライドストップを下げるとスライドが前進し通常位置に戻ります。替えマガジンがある時は、オープン状態のまま空マガジンを抜き、替えマガジンを装着し、スライドを引くと初弾が送りこまれ再度発射準備完了です。



注意

●スライド閉鎖時に指を挟まないよう注意してください。この時、トリガーに指がかかっていないことと、銃口の向きにも注意をはらってください ●寒冷期やガス切れ・連続発射等によるガス圧不足、メンテナンス不足、グリップホールドの甘さなどが原因となって、スライドストップがかからない時がありますが、これは故障ではありません。該当する原因を改善すれば正常にもどります

8 【発射が終わったら】

CHECK
Clear?



マガジンを抜き、スライドを引いてチェンバー内に残弾がないことを確認してください。残弾がある場合、スライドストップをかけた状態で、銃口側からロッド状のものを利用して押し出してください。



警告

●撃ち終わった時、撃つ意志がない時には、ただちに薬室からBB弾を抜き、決して入れたままにならないようにしてください(誤射・暴発へつながる可能性があります)

ホップアップメカニズム

ホップ調整をマスターして
銃の性能を最大限に引き出しましょう



【ホップアップの現状】

当製品には可変ホップアップメカニズムが標準装備になっています。このメカニズムは、発射時のBB弾に意図的に一定方向（上向き）の回転を与えることで揚力を生ませ、それにより、より遠くへ水平軌道のまま（あるいは多少の放物線を描かせて）到達させることを目的に開発されています。

一般的に言われているホップアップ機能の特徴は以下のとおりです。

●無暴なパワーアップという手段を使わずにBB弾を遠くまで飛ばすことができる ●弾速はノーマルに較べ遅くなる場合もある ●タイトな機構であるため、BB弾のバラツキ、気温、湿度の変化が、ホップアップ効果の変動要因となる。

以上のように「遠くへ飛ばす」という大きなメリットと「BB弾・ガス圧といった不安定要素が、（ノーマルガン以上に）性能に影響を及ぼす」というデメリットを併せ持つのがホップアップガンなのです。ホップアップガンの性能を高水準で安定させるにはデメリットを最小限にすれば良いわけで、それにはいくつかの条件を満たす必要があります。



このマークが目印!

注意 《ホップアップ性能安定の条件》

①BB弾を選ぶ。

同一種のBB弾で、真球度が高く、径にバラツキのないものを選び、同時に汚れ・キズ・変形等がないことをチェックのうえ使用する。なお、0.2~0.25g弾の使用がもっとも効果的（軽量弾はバラツキ等の影響が顕著に表れ弾道が安定せず、重量弾だと飛距離が伸びない）。

②パワー（ガス圧）を極力一定に保つ。

ポンペやマガジンの使用時の温度が一定（保管時も同様）であることが望ましい。使用の際は替えマガジンなどを用意し、使用済みマガジンは休ませてガス圧の回復を計るといった方法もデメリットを最小限にするにはベター。

③ラバーチェンバー、銃身内部の状態を同一条件下に維持する。

オイルのつきすぎ、不良BB弾の使用やホップのかけすぎによる弾づまり等に起因するキズ、摩耗した部品の使用などもマイナス要因となる。メンテナンス時の注油は微量多頻度で行ない（17ページ参照）条件を安定させる意味から常に注油量を一定にする。ラバーチェンバー・インナーバレル内のオイルや汚れを定期的にクリーニングする、BB弾・ラバーチェンバーやインナーバレルにキズ・摩耗がある場合は早めに取り換える、といった配慮が必要。

④大気の状態が安定している

いうまでもなく無風が望ましい。気温差も上記②に関連してホップのかかりぐあいに影響をおよぼすので配慮が必要。

※以上の4条件を満たせばその銃が持つホップアップ性能を100%引き出せる訳ですが、シューティングを楽しみながら、それらの微細な条件を常に高レベルでクリアすることは現実的には困難です。そこで考え方としては、80~90%の性能レベルを維持しつつホップアップを楽しむ、具体的にいえば10発中1発前後の弾道の乱れなら（もともと条件をクリアしていないのだから）許容範囲と考え割り切って楽しむ、というのが一般的のようです。では、ホップアップの現況説明はこれくらいにして、本製品のホップアップに関して説明してゆきましょう。

※KSCのホップアップ搭載銃はすべてKSCマイティBB弾に合わせて設計し、同BB弾によって最も性能が発揮できるよう調整されています。銃性能を生かす意味からもKSCマイティBB弾をお使いください。なお、当製品の場合、30度をこえるような環境下では0.25g弾、それ以下では0.2g弾の使用が命中精度の点では有効です。（0.2g弾=2,400発入り¥700、0.25g弾=1,500発入り¥750）

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

ホップアップメカニズム II

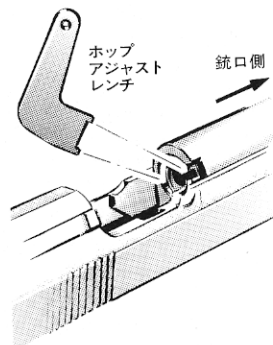


【調整と試射】

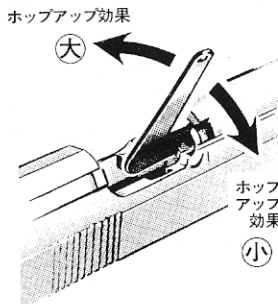
★ホップアップ調整には20m以上の空間が必要です。

1 まず、銃を撃ててみます（操作の項参照）。ホップのかりくあい
が希望どおりの弾道を描いているかどうかをチェックします。
この時、10～12発撃ち平均的な弾道やグルーピングにより判断
してください（2～3発ではデータとして不十分です。判断を誤
る可能性があります）。

2 スライドストップをかけ、
エжекションポートから、
アジャストリングのミズ
に付属のホップアジャス
トレンチをさしこみます。



3 試射の結果、ホップのかり
方が弱い時は左へ、
ホップが効きすぎている
時は右へ、アジャストリン
グを回します。



警告

ホップアジャ
ストレンチの
エッジは鋭

利ですので、ケガをしないよう注
意してください。同様の理由から、
キーホルダーなどにつけて身に
つけないでください。

★調整のポイント

ホップ 効果	BB弾の弾道現象	改善方法 (アジャストリングの調整)
無効	自重による自然放物落下	さらに 左へ
小	水平飛行距離が自然放物 落下よりはのびる	少し 左へ
	水平飛行距離が最長に	その まま
大	水平飛行から上昇に移り、 最後に放物弧で落下 (この現象の直前状態が最 適のチューニング)	少し 右へ
	極端なホップ、極端なドロ ップ、停弾、発射サイクルの バラツキ等が起きる	さらに 右へ

4

調整→試射→調整と、以後、希望の弾道が得られるまでくりかえ
します。



注意

●「調整のポイント」の表の「かけすぎ」の現象が起き
た場合は、すみやかに射撃を中止し改善方法を実行し
てください（ラバーチェンバーをはじめ銃の摩擦・破損を
はやめることになります） ●弾つまりの時はアジャストリングをホップ効果
がきかない所まで戻し、その上でBB弾を取り去ってください（かけすぎの状
態＝つまりラバーチェンバー内が狭いため停弾したわけですから、この状態
で強引にBB弾を抜き取ろうとすると確実にラバーチェンバーを痛めてしま
います） ●誤った調整方法・分解・改造による故障・事故等については当
社では一切の責任を負いません。また、その結果として生じた修理・調整費
用はすべて有料となります

メンテナンス(手入れ)



警告

●手入れを怠ると、たとえ買ったばかりの品でも作動不調をおこします。最終的には銃の耐久性にも影響しますので、こまめに行なってください ●メンテナンス中に工具類でケガをしないようご注意ください



注意

《使用前点検》

何度も使っているうちにピン類が出てきたりスクリュー類がゆるんできたりすることがあります。弾が飛ばなくなる・閉鎖不良が起きるといった不調症状が表れ、故障・部品紛失の要因となりますので定期的にチェックしましょう。特にブリーチスクリュー、インナーバルブセットスクリュー(パーツリスト参照)は、ガスブロウバック時の振動により、ゆるみや歪み傾向にあります。使用前に必ずチェックし、ゆるんでいる場合は「増し締め」してください。(「ネジロック」などのゆるみ止め剤を少量つけ固定する方法もあります。使用の際は商品の使用方法・注意書をよく読んでからお使いください。)

※上記スクリュー類がゆるみはじめると、BB弾がポロツとしか飛ばなくなる、弾道がバラつく、BB弾の送り込みが悪くなる、スライドの閉鎖不良が起きる、ブロウバックのスピード低下、などの不調症状が生じます。そのまま使い続けると症状は悪化し、さらには関連部品の破損につながりますので、異状に気付いた時にはすみやかに点検し改善してください。なお、ガス切れ/ガスの冷えすぎた時にも同症状が表れますので、そちらもチェックしてください(6~7ページ参照)。



注意

《使用オイルについての注意》

オイルはプラスチック用で「第4石油類」と明記されたテフロン系/シリコン系のものをお使いください。以上の表示がないものは絶対使わないでください。モデルガン/エアガンで使用されているゴム類や各種プラスチックのなかのある種の材質を侵してしまうものがあることが、当社の実験結果で確認されています。なかでも第2石油類のタイプ、金属用オイル(マシン油、モーターオイル、CRC556などのスプレー潤滑油、錆/汚れ落としなど)は、100%といって良いほどヒビ割れなどの劣化の原因となります(〇〇石油類の表示のないものも、内容成分が不明であることからお使いにならないほうが無難でしょう)。少なくともKSCガンオイルは、大半の他社製品を含め現時点でモデルガン/エアガンに使用されているほとんどのプラスチック材料をテストし異常のないことを確認済みです。安心してお使いください

【マガジン】

マガジン後部の放出バルブを押すと、ガスを抜くことができます。つねにガス圧がかかった状態でずとシールドをしているゴム類に負担がかかり、劣化を早めることとなりますので、発射後は、残ったガスを必ず抜いておきましょう。



警告

ガス放出時は、液状ガスが手や顔

などに吹きかからないよう放出口の向きに注意してください。もちろん他の人や動植物、電気製品、凍ると破損するものに対しても同様です。瞬時の冷却・凍結による凍傷・故障の原因となり危険です。

放出バルブを押した状態で放出口(=ノズラバー)からマガジン内部へKSCガンオイルを注入してください。また、ノズラバー上面部や、放出バルブへも注油してください。

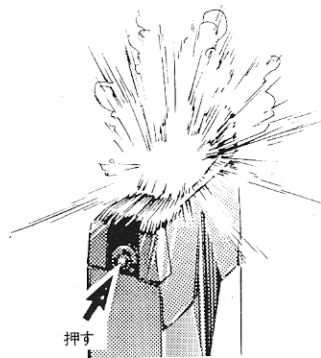
※いずれも少量でOKです。5マガジンくらいを目安に行なってください。



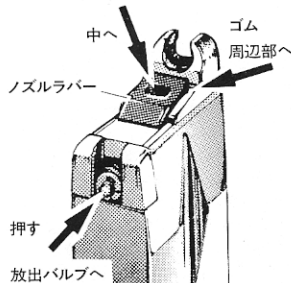
警告

《KSCガンオイル使用上の注意》

火気の近くで使用しない、40℃以上のところに置かない、など、KSCガンオイルの缶に表示されている注意内容をよく読み、正しくお使いください。室内の換気、近くにオイルがつくとまずい物がないことなどにも注意してください

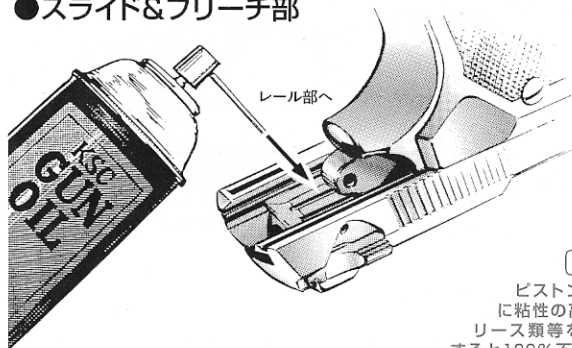


KSCガンオイルを



【銃本体】

●スライド&ブリーチ部



注意

ピストン内部
に粘性の高いグ
リース類等を使用
すると100%不調・破
損の原因になります。

KSCガンオイル250
(シリコン配合潤滑スプレー)
¥1,200 (250g入り)

●ブラから金属までオール
マイティに使えます

スライドとシャーシのレール部、ブ
リーチのシリンダー用レール部は、
定期的にKSCガンオイルを少量吹
きつけ、作動が滑らかになるよう
にしてください。

注意

●ラバーチェンバー内にはKSCガンオイル等を使用し
ないでください。オイルが付着しているとBB弾がスリッ
プして正常な弾速・弾道で発射できないことがあります。

また、ラバーチェンバーの材質の関係から、オイル成分によってはゴムが膨
張してくる場合もあります。以上の理由からマガジン内部、ピストンユニット
部の注油は1回の注油量を必要最低限とし、定期的にかまめに行なっ
てください(少量少頻度ではなく微量多頻度が、注油(=メンテナンス)と
ラバーチェンバー内部条件を最大公約数的にベターに保つポイントとなり
ます)。なお、弾道等に影響がでるほどにオイル分がつきすぎた場合や、そ
の日の使用をやめたあとは、ティッシュや綿棒等でチェンバー内を必ずク
リーニングしておいてください ●銃身内が汚れていると命中精度に悪影響を
およぼします。綿棒やティッシュなどで定期的にクリーニングしてください

●その他の可動部品

★シャーシのハンマーハウジング部など可動部品の連係する部分、スプ
リング類などにも時々注油してください。

★長時間使用しない時は、特にサビの出る可能性のあるスプリング類な
どスティールパーツを中心に、念入りにメンテナンスしてください。

●銃のクリーニング

注意

メンテナンスはガンオイルを吹きつけるだけでOKと
いうわけではありません。ゴミ、汚れ、水分の付着は、飛
距離や命中精度の低下、作動不調の原因となりうるば
かりでなく、サビの発生、部品劣化の加速にもつながります。つねにク
リーンな状態を保ち、愛用の銃をいつも最高のコンディションにしておきましょ

警告

●エアガンは3ページ目でも触れたとおり、悪意の改造を
防止するために必要最低限の強度しかありません。使
用部品の材質は主にプラスチックや強度の低い金属(亜
鉛合金など)です。耐久性には限りがありますので消耗品とお考えください。
特にガスプロウバック作動に関連する部品は磨耗や劣化がはげしく、使用
回数が増えるほど寿命は短くなります ●踏んだり、幼児がのみこんでしま
うといった万一の事故を考え、BB弾、部品、メンテナンス用品は放置しな
いでください ●パワーアップなどの危険改造は絶対しないでください。社
会に迷惑を及ぼすばかりか、銃の破損確率も高まり本人がケガをする可
能性も増大し危険です。なお、誤った使い方や改造が要因となって発生した
故障・事故・事件につきましては、当社はいっさいの責任を負いません

KSC U.S. 9mm M9
SEMI-AUTOMATIC MILITARY AIR PISTOL

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販

分解 (組み立て) |

エアガンは通常の場合、分解の必要はありません。弾づまりやメインテナンスの時以外は分解しないでください。



警告

●作業中に工具類や部品 (特にスプリング、ボール類は飛び出してくる可能性があります) でケガをしないよう注意してください ●部品・工具・メインテナンス用具は、

たとえ1個でも子供の届くところには放置しないでください。ケガや、誤って飲み込んでしまい窒息するなどといった重大な事故につながる可能性があります ●分解・組み立ての際は部品をなくさないよう注意してください ●無理な分解 (組み立て) や、当説明書に説明している以外の方法は、組み違いによる誤動作・部品の破損・変形につながりますので、やめてください

【フィールドストリップ (通常分解)】

〈組み立てる時は〉

基本的に分解の逆手順 (項目番号の大きい数字から小さいほうへ逆行) で行なってください。

1

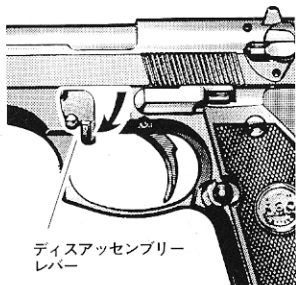
マガジンを抜き、スライドを引いて薬室に残弾がないことを確認してください。

2

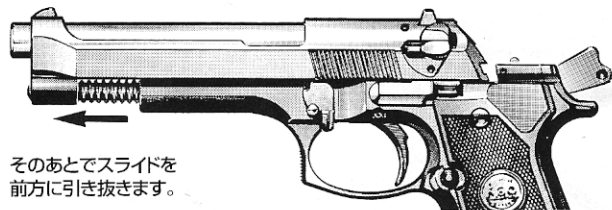
フレーム右側面のディスアッセンブリーボタンを押し、フレーム左側面のディスアッセンブリーレバーを下げます。



ディスアッセンブリー
ボタン



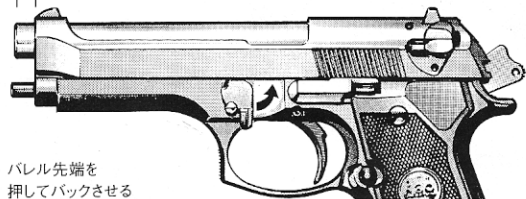
ディスアッセンブリー
レバー



そのあとでスライドを前方に引き抜きます。

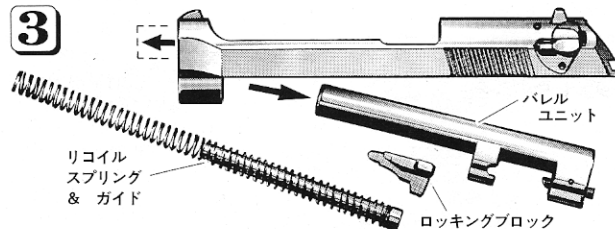
組み立て

スライドをセットする時は、バレル先端を押し、ショートリコイル状態にするとディスアッセンブリーレバーが楽にまわります。



バレル先端を押し、バックさせる

3



リコイル
スプリング
& ガイド

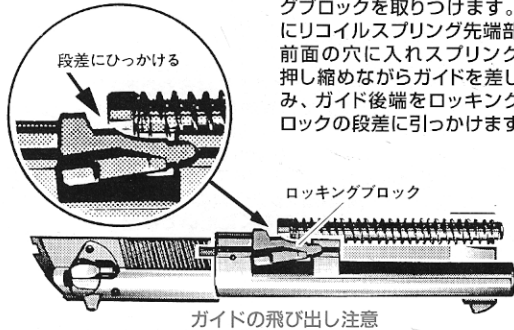
バレル
ユニット

ロック
ブロック

スライドアッシーからリコイルスプリング&ガイドをはずし、ロックンブロッケンブランジャーを前方へ押し、ロックンブロッケンを取り出します。バレルは少し前へずらしてピストンとの連結をはずしてから斜め下後方へ抜いてください。

組み立て

バレルユニットをスライド内部の定位置にセットしてロックングブロックを取りつめます。次にリコイルスプリング先端部を前面の穴に入れスプリングを前面の穴に入れスプリングを押し縮めながらガイドを差し込み、ガイド後端をロックングブロックの段差に引っかけます。



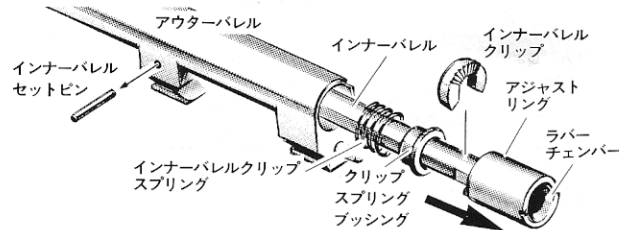
ガイドの飛び出し注意

※ここまでの通常分解終了です。これ以上の分解は破損パーツ交換時以外、必要ありません。

【別売アクセサリ装着時の分解】

●インナーバレルのはずし方

★コンベンセイターなどのマズルアタッチメントを取りつけて楽しみたい時はバレルを交換する必要がありますので、記しておきます。(ノーマルのまま使用する限りは分解の必要はありません。)



インナーバレルセットピンを抜き、アウターバレルからインナーバレルユニットを後方へ取り出します。インナーバレルクリップを上へ外し、アジャストリングを銃口側へずらせば、アジャストボール、ラバーチェンバーが取りはずせます。

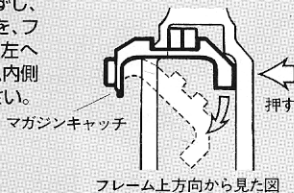
【マガジンキャッチの入れかえ】

当モデルのマガジンキャッチは左右どちらか側かを選んで組み込むことのできるアンビデクストラス(両手きき)タイプです。出荷時は右きき用にてありますが、左きき用にセッティングしなおすこともできます。

1

左のグリップをはずし、マガジンキャッチを、フレーム上から見て左へ押し込み、フレーム内側に抜き取ってください。

スプリング飛び出し注意



組み立て

マガジンキャッチブッシングを分解し、組み立てる際は、下の出っばりの長いほう=ブッシングLをボタン側にして先に入れ、スプリングと、ブッシングRをセットし、ボタン側へ押しつけながら、はめこんでください。

(右キキ用セッティング)

○フレーム内側にマガジンキャッチを入れ、ボタン部をフレームのマガジンキャッチ孔から外へ出します。ボタン部とは逆側(図では右側)をフレーム右内壁にすりつけようとしてトリガー側に押しつけると、バチンと入り正常位置にセットされます



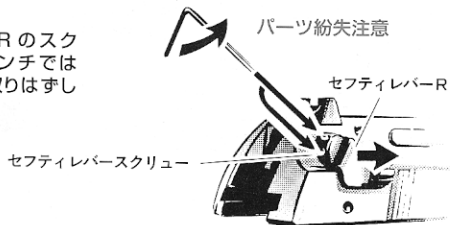
分解(組み立て) II

無理な分解・組み立ては、破損・ケガの原因になります。
細心の注意をはらって行ってください。

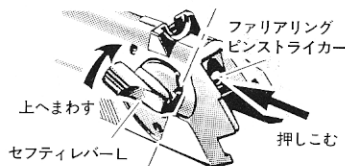
●セフティレバーのはずし方

本来、分解すべきところではありませんが、ピストンユニットを固定しているブリーチスクリューが万一ゆるみ、不調になった場合の対処方法として説明します。

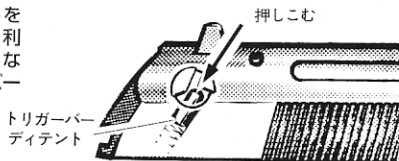
セフティレバー R のスクリューを L 型レンチではずし、レバーを取りはずします。



ファイアリングピンストライカーを押し入れ、セフティレバー L のレバー部を上方向に回し、

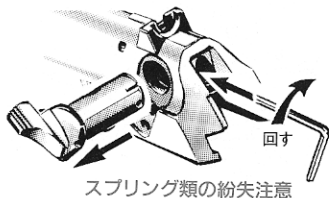


トリガーバーディテントをドライバーの先などを利用して下方へ押し込みながら、さらにセフティレバー L を上方に回します。



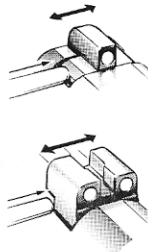
セフティレバー L を左側へ引き抜きます。この時、左側のセフティディテント & スプリング、右側のトリガーバーディテント & スプリングの、飛び出し・紛失に注意してください。

セフティをはずしたら、ブリーチスクリューを絞め直すことができるようになります。



ブリガデール系スライドのサイト調整

『エリート』などブリガデール系のフロントサイトならびにリアサイトは、スライドとは別部品(金属製)につき、ウィンデージ(横方向)の微調整が、わずかな幅ながらも可能です。ただし、「フィクスト(固定)サイト」のジャンルのものであることには変わりありませんので、頻繁な微調整作業を前提に設計された「アジャスタブルサイト」のようなつもりで調整を繰り返すと、次第にガタツキが出てくる可能性が大了。調整は必要最少限にとどめてください。調整はフロント/リア共に横からブラ製のロッド状のものを押しあててハンマーで軽くたたいて移動させてください。



保管・運搬・譲渡・廃棄

【保管】

銃の保管は必ずオーナー（所有者）の責任で
確実に行なってください。



! 注意

●スライドを引き
薬室内にBB弾
が入っていない

ことを確かめ、使わない時には必ずケースや箱に入れて保管してください

●ポンベ・BB弾は銃とは別に保管します（できれば、銃・マガジン・ポンベ・BB弾がそれぞれ別々に保管できることが望ましい） ●子供・取り扱い方を知らない人・マナーを守れない人にはさわらせてください。また、さわれないよう保管してください。（もしそのような人に銃をさわらせる場合は、持ち主の責任で安全管理をし、取り扱い方・マナー等を正しく理解・実行していただけるよう啓蒙してください。） ●保管場所が不適当な場合の盗難・事故・事件が生じても当社はいっさい責任は負いません

●長い間使用していなかった銃を使用する場合、部品の破損・摩耗がないか、作動はスムーズか、安全装置などの銃の機能が正常に働いているか、などをまず確かめてください

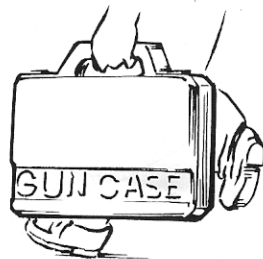


【運搬】

! 注意

●持ち運ぶ場合はケースや袋に入れ、決して

銃をむき出したままではしないでください（第三者に不快感を与えたり誤解を招く可能性があります）

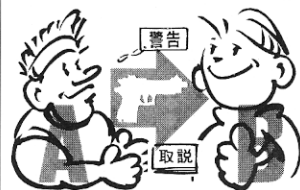


【譲渡】

! 注意

●銃を他の人に
ゆずる時は、銃だ
けではなく、取扱

説明書や警告カードも渡してください。取扱説明書がなかったために誤った操作をして本人もしくは他の人がケガをしてしまった場合、あなたにも責任がかかってくる可能性があります



取扱説明書や警告カードを紛失した際は当社へご請求ください。その場合、一部¥300（郵送料サービス）となります。

【廃棄処分】

! 注意

●銃を廃棄する（捨てる）場合は、ガスが入

っていないことを確認し、箱などに入れ「処分する玩具」と明記して行なってください。この際、悪用されないよう、わざと破損させる、バラバラに分解するといった配慮もあったほうが良いでしょう



使用前
マナー
操作
ホップ
手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

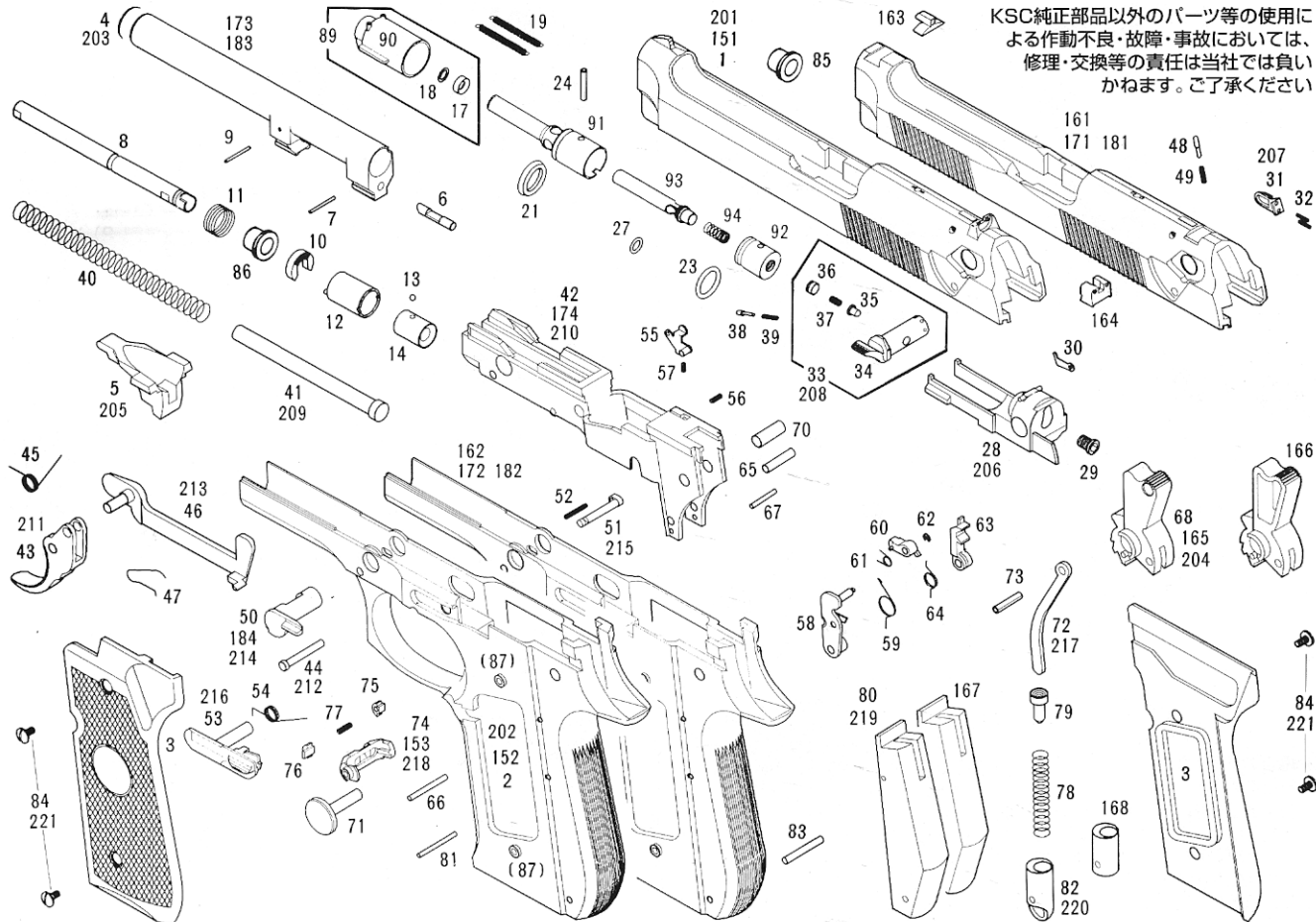
故障？

アフター

通販

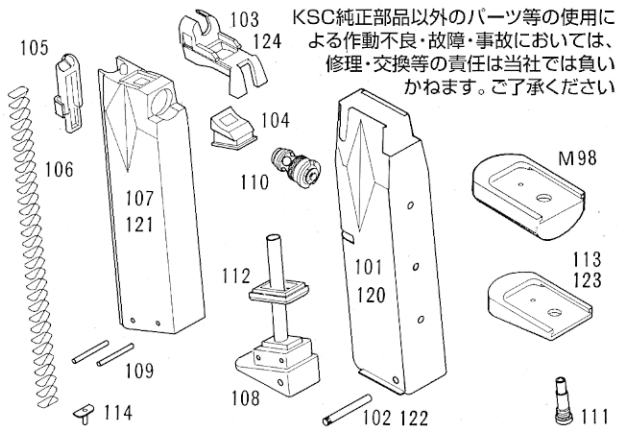
パーツリスト I

KSC純正部品以外のパーツ等の使用による作動不良・故障・事故においては、修理・交換等の責任は当社では負いかねます。ご了承ください



KSC U.S. 9mm M9

この表の仕様/価格は2000年8月現在のものです(表示価格に消費税は含まれません)。
仕様/価格は改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。



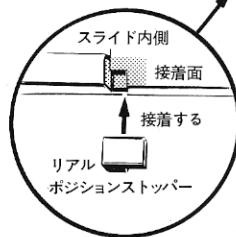
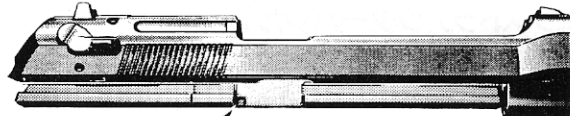
KSC純正部品以外のパーツ等の使用による作動不良・故障・事故においては、修理・交換等の責任は当社では負いかねます。ご了承ください

■マガジン

101	マガジンケース	¥ 2,000
102	マガジンケースピン	¥ 100
103	マガジンリップ	¥ 700
104	ノズルラバー	¥ 300
105	マガジンフォロアー	¥ 200
106	マガジンフォロアースプリング	¥ 400
107	マガジンインナーケース	¥ 1,800
108	マガジンインナーベース	¥ 800
109	マガジンインナーベースピン(×2)	1コ ¥ 50
110	放出バルブ	¥ 800
111	注入バルブ	¥ 300
112	マガジンシール	¥ 200
113	マガジンベース	¥ 800
114	マガジnstopパー	¥ 200
M98	マガジンバンパー	¥ 1,200

付属パーツ『リアルポジションストッパー』について

当モデルは、寒冷期やマガジン冷却時などのガス圧低下の際に起こりがちな、ブロウバック時のスライドストローク不足に起因するスライドストップ作動不調に対応するために、あらかじめストップ位置を前進させてあります。スライドストップ機能に対して「作動優先」の方はそのまま、実銃のようなリアルポジションつまり「位置優先」の方は当パーツを接着してご使用ください。なお、当パーツ接着時のデメリットとして、寒冷期やマガジン冷却時はスライドストップのかけが悪くなる確率が高くなります。マガジンを温める(温めすぎに注意)などしてガス圧低下をおさえる対策をとってください。



★接着時の注意

●接着面の油分・汚れを綿棒などにつけた中性洗剤で落とし、さらに洗剤分も水で洗い流してください ●接着剤はABS用をお使いください。完全に接着されるまで(余裕を見て1日位)放置してください。その際には洗濯バサミなどで挟み接着面を加圧する方法をとると効果的です ●接着剤が周囲にはみ出た時(特にレール部)は作動不良の原因になりますので、削除修正してください。

■BBローダーセット/専用レンチ

97	ローダーロッド	¥ 300
98	ローダーパイプ	¥ 500
99	ローダーファネル	¥ 300
100	ホップアダプタレンチ	¥ 200
T51	0.89mmL型六角レンチ	¥ 100
T52	1.5mmL型六角レンチ	¥ 100
T53	2.0mmL型六角レンチ	¥ 100
T54	2.5mmL型六角レンチ	¥ 100
T55	3.0mmL型六角レンチ	¥ 100
T56	4.0mmL型六角レンチ	¥ 100

使用前

マナー

操作

ホップ

手入れ

分解

保管他

パーツ

アクセ

故障?

アフター

通販